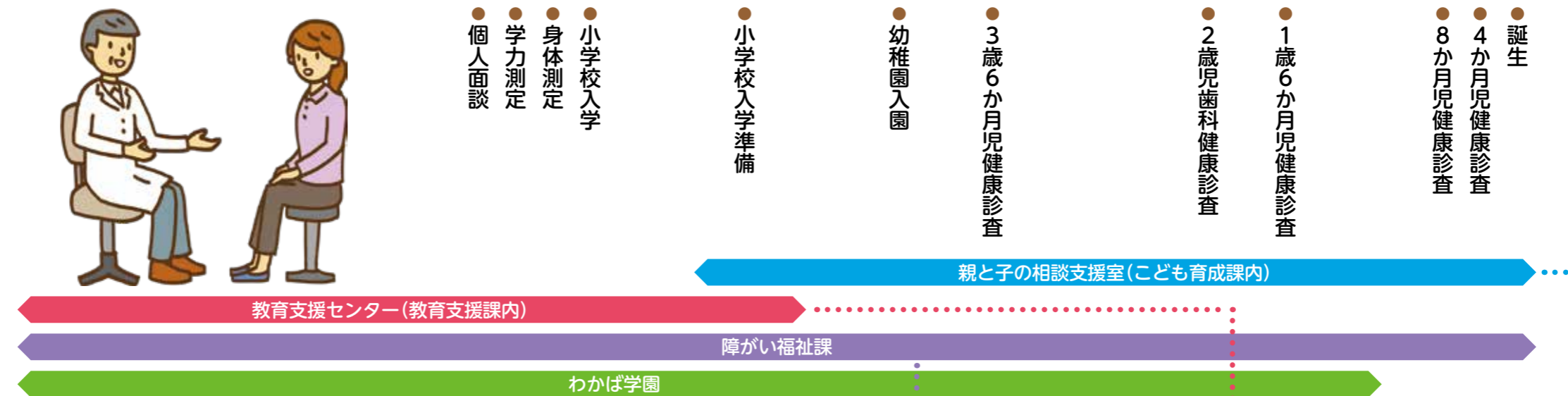


# 発達や成長に応じた市の相談窓口

市には年齢に応じた相談窓口があります。気軽に相談をしてください。

発達の度合いが分かるタイムラインの例

相談窓口



**親と子の相談支援室(こども育成課内)**  
☎(235)7885

言葉や動作など、子どもの発達や気になる癖、子育ての悩みなどの相談に公認心理師、作業療法士、言語聴覚士が応じます。歩行やお座りなど体の相談には理学療法士が応じます。☎8時30分～17時15分(未就学児)予約制。電話または直接こども育成課へ

**教育支援センター(教育支援課内)**  
☎(234)8764

就学先の相談や入学後の支援などの相談に指導主事が応じます。在学中のお子さんは、担任または相談担当の教職員を通して各小・中学校のスクールカウンセラーに相談ができます。相談日は学校ごとに異なります。☎8時30分～17時15分(就学前)20歳の方(就学相談は予約制。電話または直接教育支援センターへ)

**障がい福祉課**  
☎(235)4813

年齢や相談内容に応じた窓口や手続きを、社会福祉主事(ケースワーカー)などが案内します。☎(月)～(金)8時30分～17時15分(発達や成長について気になることがある方)予約不要。電話または直接障がい福祉課へ

**わかば学園**  
☎(235)2703

発達が気になる子どもに、日常生活に必要なスキル獲得に向けた支援を行います。子どもの発達のほか、家庭生活や保護者の心配ごとの相談にも応じます。☎8時30分～17時30分(1歳～小学生6年生と保護者)療育相談は要予約。電話または直接わかば学園へ

**家族だけで抱え込まないで**  
わかば学園 山田佳子園長

わかば学園では、子どもたちの「できること」を一つでも多く見つけ、「できる力」「育つ力」を引き出す療育を行っています。「もっとやりたい」と楽しむ子どもの様子や保護者の安心した顔を見たときはうれしく思います。発達障がいには生まれながらの特性です。大切なことはお子さんのペースや興味・関心に合わせることで、悩みを家族だけで抱え込まないことです。味方になってくれる人は必ずいます。市の相談窓口だけでなく、まずは周囲の方に悩みを伝えてほしいと思います。

## わかば学園を利用する保護者に聞きました

**Aさん**  
「今しかできない関わりを大切に」  
私の子どもは集団指示が通らず、過集中です。他の子ができることがなぜできないのかと思うこともありましたが、できないことばかりに目を向けないようにしています。子どもは必ず成長しますが、新たな課題が見つかることもあります。わかば学園には成長過程を見てくれる人がたくさんいて、それを共有できます。子どもと今しかできない関わりを大切にしたいです。

**Bさん**  
「療育、との出会いが自信に」  
私の子どもは確実性を求め、不安感が強い特性があります。子育ては悩みの連続ですが、子どもが何に困っているかを考えるようになってからは、向き合う子育てを目指し前向きになれました。子どもの自立を支援してくれる「療育」を通して子どもの成長が見られたときは、自信になりました。周囲の人を頼ったり相談したりしながら、子育てを楽しんでいます。

**Cさん**  
「のんびりと、前向きに」  
子どもは勝ち負けなどのこだわりが強く、急な予定変更が苦手です。言いたいことが伝わらず、戸惑った時期もありましたが、子どもも年々成長しています。今でも大変なことはありますが、頑張っている様子を見たり、聞いたりすると、うれしくなります。過保護にならないようにしながら、のんびりと接するようにしています。

**Dさん**  
「適した接し方を療育から」  
子どもは肢体不自由で発達が遅く、障がいと診断されたときは、頭で分かかっていても受け入れるまでに時間がかかりました。市の施設には重度の障がいの子が利用できるものはないと思っていました。もっと早く利用すれば良かったと思います。適した接し方は一人一人違い、それを探ることができると「療育、だ」と思います。